



都立南大沢学園通信

～情熱・誠実・実践～

東京都立南大沢学園
校長 井上 美保
令和8年5月1日発行
5月号

仲間とつくった経験を、将来の働く力へ

校長 井上 美保

先月、スポーツフェスタがありました。

本校では、生徒のみなさんの主体性を育てるため、委員会が中心となって学校行事を運営する機会を多く設けています。スポーツフェスタも、その一つです。

1年生にとっては、入学から2週間あまりという時期でしたが、体育委員を中心に、準備から当日の運営、片づけまで、役割を意識し、最後まで責任をもって取り組んでくれました。

大会当日までは、どのクラスも、優勝を目指して話し合いを重ね、作戦や戦略を立てて競技に臨みました。チームプレイは仲間と協力し、助け合ってこそ成り立つものです。仕事も同じですね。周囲と協力し、助け合い、それぞれが自分の役割を果たしてこそ成り立つものです。

大会当日は、スピード感のあるプレイや迫力のある動きが次々とみられ、活気にあふれる大会となりました。また、ルールに従った前向きな応援は、仲間を支え、クラスや学年の一体感を高めていました。普段の学校生活では見られない表情や、仲間を思いやる行動に、みなさんの成長を強く感じました。

仲間と力を合わせ、行動し、最後までやり抜いたこの経験は、日々の学習や生活を支える力となって、一人一人に確実に身についています。これは、将来、働くための、決してゆるがないベースの力となるはずです。

みなさんは、企業就労を目指して、この学校に入学しました。

働くための土台となる力は、特別な行事だけで身につくものではありません。毎日の学校生活の中で、学習に臨む環境を自分で整え、集団の中で当たり前な行動を続けていくことによって、少しずつ育っていきます。

これからも、学校生活の中で学ぶべきことの一つ一つを大切にしながら、たくさんの経験を積み重ね、将来の働く力へとつなげていきましょう。

学びに向かうベースを整える

4S UD スタンド

主幹教諭 森川 崇

新年度が始まりひと月が経ちました。授業や行事なども本格的に始まり、生徒の皆さんの表情から順調にスタートできている様子が伝わってきます。

さて、南大沢学園では、生徒の皆さんが授業を分かりやすく理解し、落ち着いて学習に取り組むことができるよう、また、学校生活や卒業後の生活が充実したものになるよう、4S、南大沢 UD、南大沢スタンドの3本柱を実践しています。この3本柱は指導者である教員も整えますが、学習者である生徒の皆さんも自分のこととして整えることが必要です。今一度、確認してみましょう。

4Sで「整える」

整理：必要なものと、不要なものに分け、不要なものを取り除く。

整頓：必要なものの置き場所を決め、いつでも使える状態にしておく。

清掃：教室・机・用具の汚れを取り除き、きれいにする。

清潔：清掃した状態を保つ。身体、服装、身の回りを汚れの無い状態にする。

南大沢 UD で「自信をつける」

南大沢 UD は、生徒の皆さんがすすんで学習に取り組めるようにするための「分かりやすい環境づくり」です。授業のきまりや予定を分かりやすく示し、学習のポイントをはっきりさせることで、安心して学習に取り組むことができます。こうした取組により、「できた」という経験が増え、自信や主体性につながっていきます。

南大沢スタンドで「続ける」

南大沢スタンドは、学校生活や就労に向けて土台となるルールやマナーなど「基本の行動」を、生徒の皆さんが実践できる形にそろえたものです。基本を守り、毎日繰り返すことが大切です。4Sで環境を整え、南大沢 UD で見通しをもって学び、スタンドで基本行動を続ける。

この積み重ねが、将来の社会参加や豊かな暮らしにつながります。できることを一つずつ、継続していきましょう。